

議会だより



是非を問う

賛成
多数

令和8年 議会概要

3月定例会

1月・2月臨時会

3月定例会は、令和8年3月5日から13日の9日間開催し、条例8件、補正予算6件、当初予算9件、指定管理1件、契約2件、その他2件、議員発議1件の計29件の議案を審議し全て可決しました。

1月臨時会は令和8年1月26日に開催し、専決処分1件、補正予算専決処分1件、補正予算1件の議案を、2月臨時会は2月6日に開催し、「ホテルベルリーフ大月の指定管理者の指定について」、条例1件を審議し承認・可決しました。

反対

浦木 米谷

「大月町総合振興計画 後期基本計画」が5年間の計画として示されました。

反対・賛成の討論がありました。

より絞り込んだ

方針が必要

浦木 秀雄 議員

第7次大月町総合振興計画は、町の最上位計画として行政運営の指針を示すものです。しかし、後期基本計画には総花的な内容はありません、今の大月町が直面する困難を突破するための指針が示されていません。限られた5年間で到達可能な、より絞り込んだ方針が必要です。

よって、本計画は一度練り直すべきであり、私は反対します。

指標の選定や課題の

掘り下げが甘い

米谷 勝市 議員

本計画の大きな方向性には賛成です。行政が流れをつくり、民間と連動してこそ目標達成に近づくと考えます。

しかし、前期5年間の反省や未達要因の分析が不十分で、指標の選定や課題の掘り下げが甘いままでは実効性が担保できません。

一度立ち止まり、指標と課題を精査したうえで、より磨き上げた計画として出し直すべきと考え、今回は反対します。

賛成

中田 谷 依岡
松田 新谷 笹木
安岡(利)



現状を的確に捉えた

妥当な内容

中田 巖議員

本計画は、町の最上位計画として行政運営の指針を示すものであり、現状を的確に捉えた妥当な内容です。細部を書き込みすぎで柔軟性を損なうこともなく、必要な範囲に整理されています。

各ページに示された事業こそが課題解決の手段であり、突破口は十分に示されています。重要なのは実行段階での進捗管理であり、議会がしっかりとチェックしていくことです。

以上の理由から、本計画に賛成します。

前期計画を踏まえて

適切に整理されている

谷 正美議員

本計画は、町の重点施策としての目標と指針を示すものであり、前期計画を踏まえて適切に整理されています。計画はあくまで大きな方向性を示すものであり、細部まで書き込みすぎれば行政の動きを損なう恐れがあります。その点で、本計画は必要な範囲にとどめられており妥当です。

重要なのは、この目標に向けて政策努力を積み重ね、議会がその進捗をしっかりとチェックすることです。

以上の理由から、本計画に賛成します。

必要な見直しも

行われている

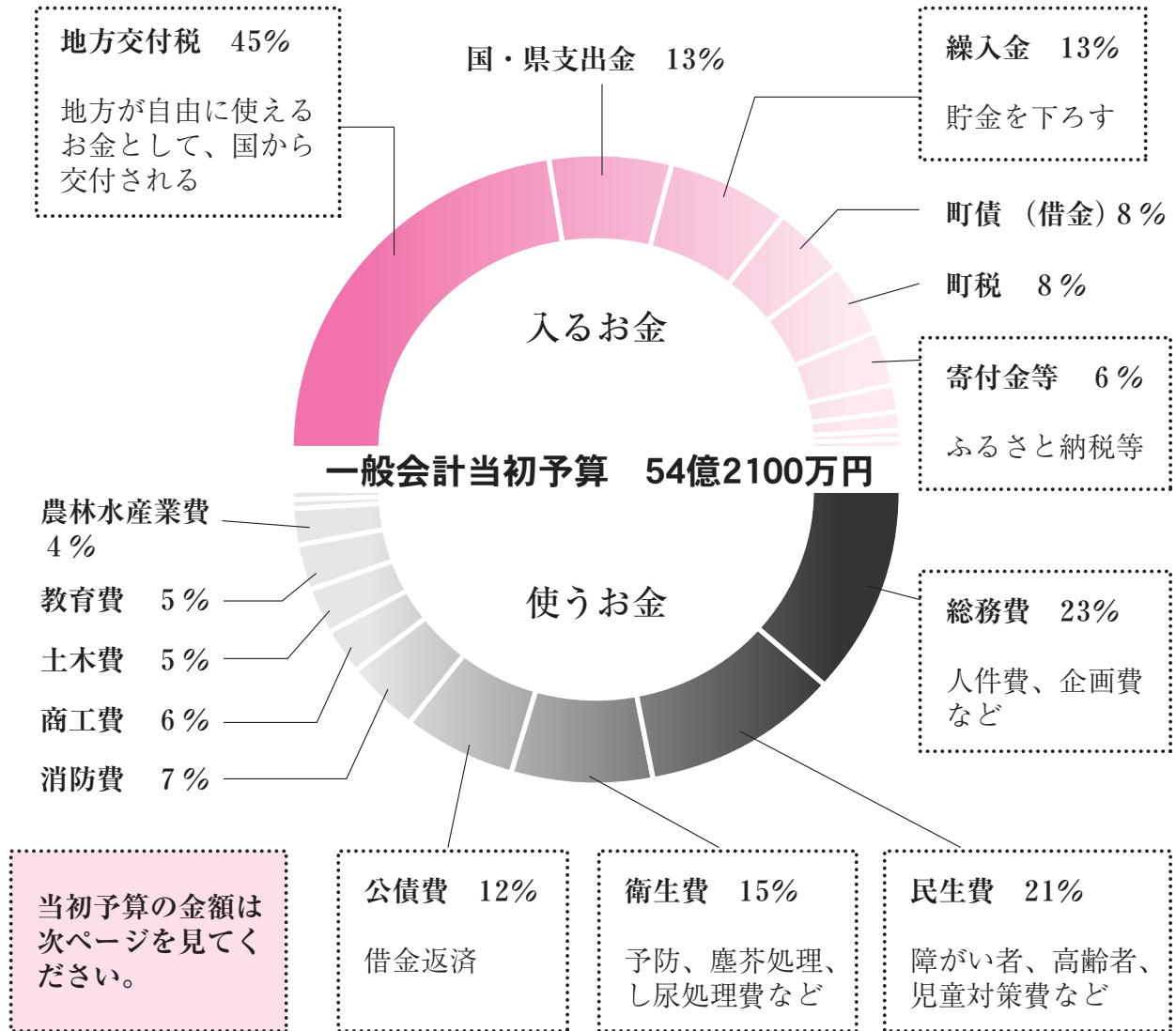
依岡 一生議員

第7次大月町総合振興計画は、内容として優れた点が多く、必要な見直しも行われていると評価しています。

町長が掲げる6つの目標に向けた施策も着実に進んでおり、行政・議会・町民が一体となって取り組む姿勢が示されています。

この方向性は妥当であり、今後も協議しながら進めていくべき計画だと判断し、私は賛成します。

道の駅改修計画 再始動



住民の願いに応える道の駅計画を

**道の駅再整備事業
基本設計委託料900万円**

町は、道の駅をリニューアルするための「基本設計」委託予算900万円を計上した。
一次産業の振興、食堂の設置など住民の願いに応える道の駅の計画を期待したい。



歳入比較	8年度予算額 (A)	7年度予算額 (B)	増減額 (A)－(B)
地方交付税	24億2752万円	24億1756万円	996万円
繰入金	7億 471万円	6億3273万円	7198万円
国県支出金	6億9253万円	7億7193万円	△7940万円
町 債	4億4930万円	4億7120万円	△2190万円
町 税	4億 866万円	4億1719万円	△853万円
寄付金等	3億4555万円	2億9865万円	4690万円
使用料及び手数料	1億5013万円	1億4378万円	635万円
交付金	1億4277万円	1億3157万円	1120万円
地方譲与税	6170万円	5947万円	223万円
分担金及び負担金	3813万円	3292万円	521万円
歳入合計	54億2100万円	53億7700万円	4400万円

本年度と前年度の 当初予算比較

2190万円減らしていることから、健全財政に向けて努力している。

歳入予算の特徴

歳入合計は4400万円増えている。

町税853万円減は物価高騰等による所得の減少が影響していると考えられる。

借金である町債を

歳出比較	8年度予算額 (A)	7年度予算額 (B)	増減額 (A)－(B)
総務費	12億3759万円	12億6846万円	△3087万円
民生費	11億2421万円	11億4332万円	△1911万円
衛生費	8億2494万円	7億4443万円	8051万円
公債費	6億4981万円	6億3294万円	1687万円
消防費	4億 403万円	3億9754万円	649万円
商工費	2億9965万円	2億3230万円	6735万円
土木費	2億8934万円	4億1095万円	△1億2161万円
教育費	2億7346万円	2億7941万円	△595万円
農林水産業費	2億3503万円	1億8299万円	5204万円
議会費	5494万円	5613万円	△119万円
その他	2800万円	2853万円	△53万円
歳入合計	54億2100万円	53億7700万円	4400万円

歳出予算の特徴

土木費1億2161万円減は緊急自然災害防止事業(田代川)が終わったためである。

衛生費8051万円増は、幡多西部消防組合衛生処理施設延命化事業に伴う負担金の増額である。

商工費6735万円増は、ふれあいパーク大月修繕料、ふるさと応援寄付金謝礼品費などによる。

農林水産業費5204万円増は、露地園芸有望品目導入支援事業費補助金、四万十市新食肉センター整備費負担金などによる。

特別会計・事業会計

会計名	8年度予算額 (A)	7年度予算額 (B)	増減額 (A)－(B)
特別養護老人ホーム	3億8371万円	3億7106万円	1265万円
国民健康保険	7億6662万円	7億4520万円	2142万円
介護保険	7億8116万円	8億7142万円	△9026万円
後期高齢者医療	1億1729万円	1億 948万円	781万円
給与等集中処理	9億3550万円	9億1060万円	2490万円
病院事業会計	6億4787万円	5億9221万円	5566万円
簡易水道事業会計	6億7588万円	6億6148万円	1440万円
漁業集落排水処理事業会計	2518万円	5245万円	△2727万円



幡西衛生処理センター

予算 審査

3月10日、11日、
12日、全員協議
会で各担当課を招
いて審査しまし
た。

福祉環境の充実

障がい者支援 松田



問 成年後見制度利用支援事業11万円は。

答 成年後見人が必要な身寄りのない方について、町長が成年後見人の申し立てを行うための費用1件分です。

妊婦支援 中田



問 妊婦に対する様々な支援が講じられているが、その周知方法は。

答 保健師との面談等により周知は徹底されており、活用も十分されています。

一次産業の充実



農業を続けられる施策を

有望品目支援 松田



問 露地園芸有望品目導入支援事業費補助金1000万円は。

答 事業者が果樹部門を充実させるため、選果機を導入する補助金です。

森林管理制度 中田



問 森林経営管理制度の令和8年度の計画地は。周防形地区と頭集地区を予定しています。

観光整備の充実

宿泊施設備品 米谷



問 指定管理者が決まったベルリーフ大月への宿泊施設備品購入費100万円は。

答 厨房機器が老朽化で一部買替が必要と判断し、厨房機器等の購入予算です。

観光拠点整備 米谷



問 滞在型観光拠点整備業務委託料1520万円の内訳と委託先は。

答 委託先はアウトドアフィールドKASHIISHIの指定管理者である株式会社Founding Base。内容はコットンテント3基を耐久性の高いドーム型テント3基へ再整備する予算です。



檜西のコットンテント

まちづくりの充実

生活環境の充実

出合いの場創出 新谷



問 出合いの場創出イベント実施事業委託料は、令和7年度と同様に、若者に企画をしてもらうイベント委託料です。

バス車両購入 新谷



問 大月町地域路線バス車両購入費補助金は、更新時期のバスが20台以上あり、小型バスを年1台ずつ宿毛市・土佐清水市・大月町の補助で購入しています。

簡易水道 安岡(利)



問 大月町簡易水道事業会計における資本的支出の内容は。

答 春遠ダムに係る配水池・配管等の工事費です。

協力隊 浦木



問 地域おこし協力隊の予算総額、人数、強化策は。

答 予算総額は、昨年は約2000万円、今年は約3500万円、新たに4人を追加しました。現役隊員サポート業務委託料として約200万円を新たに設けました。

橋梁点検委託料 谷



問 長寿命化修繕計画橋梁点検委託料は町内の何橋に対しての予算か。

答 町道の135橋について、5年ごとの点検が義務付けられているので、本年は43橋分の予算を計上しています。

耐震補助金 谷



問 住宅耐震改修設計費補助金1750万円と住宅耐震改修工事費補助金5000万円は何件分の予算か。

答 住宅耐震改修設計費補助金50件分と住宅耐震改修工事費補助金50件分です。

その他の充実

固定資産税 安岡(利)



問 延滞繰越分についての動向はどうか。

答 徴収強化、人口減少等により滞納額は減少傾向にあります。

看板設置 谷



問 文化財保護費の看板製作設置業務委託料は。

答 木製看板をアルミ製看板に取り替える3基分の設置委託料です。



当初予算書
事業会計を含む9会計それぞれが1冊ずつ製本されています。
これらを全て、質疑等によって内容を精査し、最終的に議会で議決します。

今議会の動き

全員賛成

条例

▼大月町防災対策加速化基金条例を廃止する条例

- 県の交付要綱に則り、残高を全て処分するため

▼大月町介護保険高額介護サービス費等貸付基金条例及び大月町介護保険高額介護サービス費等貸付条例を廃止する条例

- 利用実績がなく、今後も利用が見込まれないため

▼大月町印鑑条例の一部を改正する条例

- 法改正による条ずれを改正

▼大月町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例

- 同事業の運営のため制定

▼大月町地域包括支援センター設置条例の一部を改正する条例

- 所在地の変更、法改正による条ずれを改正

▼大月町火入れに関する条例の一部を改正する条例

- 林野火災注意報・警報の運用開始に対応するため

▼大月エコロジーキャンプ場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

- 竜ヶ浜キャンプ場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- 利用料金の上限、施設に係る事項を同一の規定とするため

全員賛成

指定管理

▼大月町デイ・サービスさんごに係る指定管理者の指定

- 社会福祉協議会を指定管理者へ



デイサービスさんご

全員賛成

請負契約

▼普通河川田代川河川改修工事請負契約の締結

- 契約金額…7965万1千円
- 契約の相手方…協業組合テスク

▼大月町簡易水道施設（姫ノ井工区）才角工区）整備工事請負契約の締結

- 契約金額…6208万4千円
- 契約の相手方…長山建設株式会社

賛成多数

計画

▼第7次大月町総合振興計画後期基本計画

- 大月町過疎地域持続的発展計画「前期基本計画」の期間が終了するため、令和8年度から5年間の「後期基本計画」を定める

委員会報告

総務厚生

常任委員会

結審要旨



大月町全図

大月町全体では、人口減少や担い手不足等が問題視されている。現状では将来維持や継続が難しくなると予測できる。将来に向けて若者世代の組織体を形成するとともに、住民組織のあり方を見直し、地域におけるつながりや課題解決を早急に図る必要がある。地域運営組織（協議会）である小規模多機能自治による「住民主体のまちづくり」を行政主導で立ち上げるよう以下の提言をする。

- ① 地域運営組織は、若者世代を中心とする人口分布を最優先としたエリア分けをすること。
- ② 地域課題を把握するため、アンケート調査を実施すること。
- ③ 住民が主体となる地域運営組織を形成し、住民と行政が互いに協力しあえる小規模多機能自治の仕組みづくりをすること。

議会運営委員会

中間報告要旨



懇談会のようす

議長から諮問された議会改革の推進について、令和6年10月7日から本定例会までの間、7回の議会運営委員会と3回の全員協議会での協議において調査を進めてきた。

- ① 議員活動の集計においては、1年間の議員の活動を同じワークシートによって集計した。議員のなり手不足解消に向けての議論の骨子として活用する。
- ② 地区懇談会はテーマを「産業振興・防災」とし、令和7年4月・5月・9月の3か月間、17地区において懇談会を開催した。出された意見要望等は242項目。各地区から出された意見は文書をもって各地区長に配布に向け準備中である。
- ③ 通信等のLINE活用については、既に活用し定着している。
- ④ 決算の審議を深め、来年度の当初予算に反映するとの意見は、議会のあり方検討特別委員会において議論を進めていく。

2月臨時会 ホテルベルリーフ大月 新たな指定管理者決定賛否

賛成
多数

賛成

中田 谷 浦木 依岡
新谷 松田 安岡(利)

反対

米谷 笹木

町の利益に資する合理的な選択

(中田巖議員)

町は決して事業者を選べる立場になく、厳しい条件の中で手を挙げてくれた事業者を公益性から評価すべきです。修繕や経営に関して、町が新たに多額の財政負担を負うものではない。そのうえで、町営ホテル営業を再開することにより、第1に施設の維持が図られること、第2に宿泊客を通じた町内経済への波及効果が期待できる。本議案は町の利益に資する合理的な選択であると考えます。

町民の財産を守り、観光振興のため

(谷正美議員)

2年間使用せず老朽化が進んでいます。経営の問題は事業者が努力を重ねてやるべきことであり、黒字化を見込んでの応募と判断します。行政は関係ないことです。食事については、段階を経て提供していけるような仕組みを作っていきたいと説明を受けました。

町民の財産を守り、交流人口を増やすための観光振興、これに寄与するためのホテル経営を1日も早くやるべきと考えます。

多機能ホテルを目指している

(浦木秀雄議員)

指定管理者は、多機能ホテルを目指している。町も補助金等で支援をしていくと表明した。両者の努力を信じます。

住民に説明できるだけの資料・根拠が揃っていない

(米谷勝市議員)

選定基準の不開示、ホテル運営能力の検証資料、運転資金、赤字耐性、食事の提供の方法、設備リスクの改修等の負担区分、途中撤退時の解約・引継ぎの不明確など承認判断に不可欠な情報が議会に十分示されていません。現段階で議会が住民に説明できるだけの資料・根拠が揃っていない以上、承認を急ぐ合理性はありません。

運営能力、競争力に疑問

(笹木章弘議員)

理由は大きく3点です。第1に、事業者の運営能力に対する懸念です。第2に、食事提供の欠如がもたらす競争力の低下です。第3に、議会への説明不足です。

以上の点から、本計画は一度白紙に戻し、より専門性のある事業者の公募、あるいは計画の抜本的な見直しを強く求めます。



ホテルベルリーフ大月

1月臨時会

一般会計補正予算第5号
補正額 1億2189万9000円

= 主な使い道 =

物価高騰対応重点支援事業

1億597万5000円

1人2万5000円の商品券

7月1日から使用可能

アメリカとイスラエルによる イラン攻撃を非難する決議

令和8年3月13日 大月町議会

浦木議員の提案により全会一致で採択されました。

2月28日、アメリカとイスラエルは、イランへの先制攻撃を開始した。このようなアメリカとイスラエルの行動は、明らかにイランの主権及び領土の一体性を侵害し、武力の行使を禁ずる国際法の深刻な違反であり、国連憲章の重大な違反である。

力による一方的な現状変更は断じて認められない。この事態は、中東にとどまらず、日本が位置する東アジアを含む国際社会の秩序の根幹を揺るがしかねない極めて深刻な事態である。

大月町議会は、アメリカとイスラエル軍による先制攻撃を最も強い言葉で非難する。そして、アメリカとイスラエルに対し、即時に攻撃を停止することを強く求める。

政府においては、現地在留邦人の安全確保に努めるとともに、国際社会と緊密に連携しつつ、対話と交渉による平和的解決を図るよう強く訴える。

以上、決議する。



表紙絵に寄せて

第77回 県展入選

作者 渡邊百々代さん

テーマ 現実と非現実

題名 里の海は永遠不変

孫2人と土佐清水の水族館「SATOUMI」に行き、この地域にしかないといわれているシコロサンゴを見た。未来の子ども達もこのサンゴのように永遠に残ってほしいとの願いを込めて描いた。

みんなの 広場

子どもたちとの

距離感と安全最優先



林 鈴三(郷)

2009年の小学校統合を機に、スクールのバスの添乗員として乗務することに。地域説明会で不安を募らせる保護者に「とにかく一生懸命やらせてもらいます」と頭を下げ、保護者に協力を求めた時の緊張と覚悟を今でも昨日のように覚えています。

2020年からは1園に統合された保育所バスに移行。子どもたちは、とても敏感で私の気持ち(ゆとり)を察知されてしまう。毎日が反省。そしてチャレンジ。最終日に子どもたちが、「おばちゃんに乗ってくれてよかった。ありがとう」と言ってくれた時は涙が止まりませんでした。これからは子どもたちの安全を見守っていきます。



中田 巖 議員

町政運営

本町を取り巻く現状認識は 年々、厳しさを増している／町長

問

限られた財源及び人的資源の中で持続可能な行財政運営を行っていくことが、これまで以上に重要なことになっている。加えて、本町のような小規模自治体においては、財政面・人材面ともに制約がある中で、全てを行うことは非常に難しい時代に入ってきている。本町を取り巻く現状について、町長の認識は。

答

私が認識している本町の現状の課題は山積しています。
①人口減少と少子高齢化の加速
②基幹産業である第一次産業の低迷
③物価高騰と慢性的な人手不足の影響等、小規模自治体である本町を取り巻く状況は年々厳しさを増していることは事実です。

新年度予算編成

特に重視したものは

公約の三本柱です／町長

問

新年度予算編成にあたり、特に重視した政策分野は何であったのか。

答

今期、町長が掲げています、
①人口減少対策
②地域経済対策
③巨大地震を含む災害対策
の3本の柱に重点を置き予算配分をしています。

問

計上した予算の中で、町民の皆さまが実感できる変化はあるか。

答

変化や成果につきましては、単年で実感できる即効性の高い施策と、持続的効果や、中長期的効果により成果が出る施策など、一様ではありませんが、徐々に成果が表れるものと考えています。



限りある予算を大切に

課題の共有

町民や議会への説明は 行政懇談会や全員協議会で／町長

問

行政だけでなく、町民や議会と課題認識を共有しながら、町の将来像を描いていくことがこれまで以上に重要になってくると考える。町民や議会に対して、どのように説明し、理解を得るつもりか。

答

まずは地区長自治会との行政懇談会を毎年5月末頃に開催していますので、情報の共有や説明を丁寧に行っています。
住民の代表である議会に対しては、対話と協働を大切に、全員協議会等でお願います。



丁寧な説明を



依岡 一生 議員

人口減少対策

宅地造成の調査状況は 遊休施設等の活用を検討／町長



姫ノ井成ヶ丘

問

宅地造成は弘見地区2か所に絞り、一か所は現状のまま必要に応じて整備し、もう一か所は地盤が悪く宅地としては断念をしたが、他の場所の調査はどこまで進んでいるのか。

答

宅地造成については、令和3年9月議会において総務厚生常任委員会より若者定住施策として提案をいただき、令和4年度に宅地ニーズ把握アンケートを実施し、その

問

姫ノ井の春遠ダム建設事務所に貸している土地を、今後宅地として活用する考えはないか。

答

宅地造成については、現在第1ダム

後協議を重ね弘見エリアの町有地を造成する計画として、宅地造成事業を進めてきましたが、地盤調査の結果等を踏まえ断念をいたしました。今後は遊休施設等の活用を検討していきます。

の完成予定が令和9年8月となっておりますが、第2ダムの建設工事が令和9年度以降、用地買収が完了次第実施予定となっております。工期については未定ですが、宅地造成としての検討については、その後の状況を見ながら判断をしていきたいと考えています。

関係人口

アトリエ棟の 使用状況・方針について COSAの取り組みと連携／町長

問

ふれあいパークの上にあるアトリエ棟は令和4年度188万円を計上しサテライトオフィスとして活用するとの見解だった。現時点ではどのように活用し、また、企業誘致はどのような状況か。

答

現時点での活用状況は、企業1社と契約をしています。令和7年4月24日に資源循環事業に関する協定を締結し、令和7年11月20日からサントリーホールディングス株



アトリエ棟

式会社の関連会社NO WALL株式会社に利用をいただいています。企業誘致事業はCOSAの取り組みと連携して進めているところです。

地域経済対策

キビナゴ等加工産業の推進は 今後実施可能なのか確認／町長



浦木 秀雄 議員

問 昨年の9月議会で町は、「キビナゴ等加工産業の推進については、本町の实情に即した事業実施に努めたい」と答弁された。では、今年度から来年度にかけて、どの段階まで検討を進めるのか、加工品開発に向けた行程、ロードマップを示すことができるのか。

答 2団体に投げかけをしてみました。が、難しいのではないかと意見をいただいています。現時点では来年度以降に向けてのロードマップを示すことができない状況です。

今後につきましては、再度主要関係団体に対しまして、個別にアプローチを行い、議員よりいただきました提案が実施可能なのかを確認していきたいというふうに考えています。



安満地漁港

衛生設備

安満地漁港に公衆トイレを

必要性が高まる場合に

検討／町長

問 安満地漁港に公衆トイレが未整備である現状を、町としてどのよう認識しているか。また、公衆トイレを設置すべきではないか。

答 すくも湾漁協や養殖業者、まき網業者に確認したところ、現在公衆トイレの設置

の必要性が客観的に高まっているとは認識していません。

今後の利用実態や地区の衛生環境などの現状を踏まえ、必要性が客観的に高まる場合には、漁協や漁業者の皆さんと協議の上、検討していきたいと考えています。

危機管理

危機管理の管理職は町内在住で

町内町外問わず配置する／町長

問 危機管理を総括すべき課長・課長補佐が町外在住であり、即応体制が確保されていない。また、総務課防災担当の町職員全員が、昨年の暮れに県外へ私的な一泊旅行に出ている、災害発生時に招集や情報伝達の機器を扱える職員が町内に不在であった。

答 危機管理の担当は、町内の在住であることが望ましいと受けとめています。私が人事をするわけです。やはり適材適所、町内町外問わずに私は配置をする予定です。また、旅行は事実です。危機管理上、初動対応の強化、即応体制の強化を図るため、危機管理参集要件を規定化するなど、仕組み、ルー化、見える化を行う必要もあると考えています。



役場は規範が大切



新谷 伸 議員

防 災

感震ブレーカーの普及促進を
県事業を活用していく／町長

問

過去の大規模地震における火災の約半数は電気火災と言われている。本町は密集地域があり、火災が発生すると被害が拡大する恐れがあるため、感震ブレーカーの推進を行うてはどうか。

答

感震ブレーカーは、地震による電気火災を防ぐ有効な手段ですが、補助金の利用には事業者への設置依頼や、町と県の納税証明書が必要なことなど、申請手続が複雑という印象のせいか、活用が進んでいません。広報等で周知し、町民の皆様に関心を持って

いただけるよう努めていきます。

問

高知県内の一部市町村では、密集地域にコンセントタイプの感震ブレーカーを無償配布している。簡単に設置できるため、本町でも検討できないか。

答

緊急性の高い事業から優先的に予算化しており、財政的な面からも全戸配布は難しいと考えています。引き続き、県の補助事業を活用しながら普及に努めていきたいと思っています。



感震ブレーカー・コンセントタイプ



負担軽減

来年度給食費の負担額は

小学校月額1190円程度／教育長

問

町内の給食は温かくて美味しいと認識している。現在は町の補助があり、令和8年度からは国からも5200円の補助がある予定。令和8年度の月額個人負担は。

答

安心安全で工夫を凝らしたおいしい給食を提供できるように心がけています。子どもたちからも好評です。

しかし、昨今の物価高騰の影響で、30円の値上げを給食運営委員会で諮る予定です。小学校6390円、中学校6900円程度の予定ですが、小学校は国の支援により1190円程度になる予定です。

3月献立表

問

給食における町内産の食材の使用割合はどのくらいか。

答

町内にある農畜水産物のおいしさ、生産者の喜びや苦勞を伝え、感謝し、地域に誇りが持てる子どもに育てていきたい想いから、地元にある食材は全て学校給食で使うこ

とを目標にしています。

学期に1回は大月食材100%給食を実施しています。

しかし、町内がないものがたくさんあるので、金額ベースで町内産は3割程度です。

農業振興

持続可能な農業施策は 総合的施策として取り組む／町長



谷 正美 議員

問 後継者不足、高齢化が進む中、農業従事者をどのような施策をもって守っていくのか、持続可能な農業施策において具体的な取り組みを聞く。

答 新規就農者等の研修や、経営開始直後の早期の経営確立のための支援。また、国や県の支援制度などを活用し、新規就農者の確保や労力軽減対策、高収益化に繋がる対策を行い、持続可能な農業振興を図っていききたいと考えています。

問 増えつつある耕作放棄地の原状復帰に向け、支援していく考えはないか。

答 荒廃農地再生生活動を支援する制度はありますが、用途が限られています。地域ぐるみでの農道や水路等の維持管理に努め、



増えつつある耕作放棄地

集落で協力して営農継続を図り、耕作放棄地の発生防止に努めているところです。

問 新規就農者や、帰農する方へ対しての機械や設備等のハード面の支援は考えられないか。

答 国費による農業用機械等への支援制度がありますが、要件が様々あり、農業を始める全ての方が受けられる訳ではありません。本町で新たに農業経営を考えている方が

いましたら、一度産業振興課へご相談していただければと思います。

問 高齢化が進み、農業者の跡継ぎが少ない現状である、新規就農者を確保していく取り組みを、積極的に打たない限り、持続可能な農業振興は図れないのではないか。

答 農業の衰退の本質は、人が減る、儲からない、小規模で効率が悪いととらえています。中山間地域の自治体では、農業や農

村を維持することを目的とした、守る農業施策となつていきます。農業振興を進めるためには、産業として成立する農業、稼ぐ農業へ段階的にシフトをしていく、政策の比重を変え、必要があると考えています。

問 持続可能な農業施策として、町独自の取り組みが必要ではないか。

答 農業を職業として選べる環境作り、効率的な農業経営を可能にする圃場整備や組織作りなど、農業を持続可能な産業として成り立たせる仕組み作りが重要です。アンテナショップの活用協定、ふるさと納税の実績ある企業との契約協議など、売れる農作物、稼げる農業を目指し、民間活力を活用しながら、さらに販路拡大に向けて模索していきます。



高齢化が進む農業従事者



梶谷 勝市 議員

新たな農業

完全密閉型植物工場

積極的な促進は難しい／町長



植物工場

問

高市政権は食料安全保障の強化を掲げ、「完全密閉型植物工場」を推奨している。食糧安全保障の大きな課題解決になると思う。高知県の「農業構造転換集中対策」とも非常に相性が良いし、農業振興に大きなチャンス。この予算を大月町として取りに行く考えはあるか。また、個人の場合はどうか。

答

農業構造転換集中対策にあります。スマート農業を推進するため、県の支援制度を令和6年度と7年度に活用しています。個人に係るものは本人・

問

事業者からの申し出により予算確保を基本としています。行政が戦略的に行政主導で取りに行くケースもあるかと思っています。

問

農業構造転換集中対策は、農業者しか該当しない。農業未経験でも最先端の先進技術を使えば可能な栽培方法であり、行政主導で行う農業の大きな問題解決になると思うが重い腰を上げて行う考えはあるか。

答

植物工場に関しては本町として検証ができていない事業となり、現時点では積

極的に促進することは難しいと考えています。

問

水産省も同時に陸上養殖に関して推奨している。魚種もサーモン・マス・フグなどがあり新しい産業テーマに移住・定住者獲得の考えはあるか。

答

陸上養殖と新規就業や定住支援などをミックスしたワンパッケージの施策というものはありません。本町にはエビの陸上養殖を営む事業者がおりますが、事業の検証ができていません。定住支援と、養殖、陸上養殖に限らず、起業や就業等は本町で新たに移住定住を考える方にはセットであるため、関係担当部署が連携を図りながら、できるだけ支援をしていく考えです。

社会福祉

経営改善のゴールは

答弁を控える／町長

問

昨年の当初予算にて社会福祉協議会の経営赤字補填600万円を予算化。町長は「経営改善を図る」と答弁されていたが改善策は出たのか。またゴールはいつか。

答

令和7年度は運営赤字相当分を増額しています。人件費や各種受託事業の不足分について自主財源から捻出しましたが、介護保険事業運営が厳



早期の経営改善を

しく財源充たができません。県社協が介入し、介護保険事業部門の経営改善に向けて、分析や実施可能な取り組みの整理を行っています。介護保険事業の経営改善を図った上での補助金の減額なりの見直しになると思います。ゴールがいつかは、まだ改善を図っている状況なので、答弁を差し控えさせていただきます。



弟・英典さん

和田彰一さん(大駄場)



一次産業で生きる兄弟

林業を継承し、熟練の技術を磨き続ける和田さん一家を訪ね、その歩みと熱い思いをうかがいました。

たくさんさんの経験が役に立って来た

私は高校生の頃から父母の手伝いをしていました。卒業後は両親と3人でチップや杉、ヒノキ、ウバメガシの切り出し、植木の植え付けをしていました。やがて2歳年下の弟・英典も加わり家族4人で、楽しく作業効率もあがりました。

試練と原点帰

植木市場の不振や注文減少の時期もありました。他の業者から別の仕事を世話してもらって、困難

を切り抜けてきました。現在は大型重機も導入し、以前にも増して、建築用材、チップ、そして備長炭用ウバメガシ等の仕事に励み、怠らずに手入れもしています。

父から続く信頼と技術を未来へ

彰一さん、英典さんは高校生の頃から両親と共に仕事に励み、

一流の庭師も一日置く技術を身に付けたプロです。相手の注文を聞き、現物を見ずとも、信用だけで数百万の契約ができるプロ職人となりました。

これからも、父から続く信頼と技術を未来へ繋げてほしいと願います。

(取材 笹木章弘)



自走式運搬機を使い、木材を運び出す

編集後記

「議会だより、楽しみに読みよるよ」嬉しい声をかけていただきました。広報の一員としてとても嬉しいことです。

3月議会は、来年度予算審議が中心です。議会の前には、議員で予算内容を学習し、より理解を深めるようにしました。

活発な意見・討論で春の嵐のように感じた3月議会も無事閉会しました。新しい予算とともに新年度が始まります。やさしい風の中、笑顔の絶えない大月でありますように。

(松田照代)

編集委員

委員長	浦木 秀雄
副委員長	依岡 一生
委員	米谷 勝市
	笹木 章弘
	松田 照代